

平成31年第1回江差町議会定例会資料 No.2

資料38：一般社団法人北海道江差観光みらい機構の事業計画概要等について	…P 8 9
資料39：未利用町有地売却状況について	…P 9 2
資料40：北の江の島“魅力・賑わい”創出モデル事業概要について	…P 9 3
資料41：江差子ども未来応援プロジェクトについて	…P 9 4
資料42：まちづくりカフェ活動拠点整備事業・まちづくり人材育成プロジェクト事業 について	…P 9 5
資料43：平成30年度地域別まちづくり懇話会における主な意見及び質疑一覧	…P 9 6
資料44：日本遺産地域活性化推進事業について（H29～H31）	…P 1 0 5
資料45：町営レストラン月別利用状況比較	…P 1 0 6
資料46：介護保険特別会計について	…P 1 0 7
資料47：各支援員が担当する「通常学級において特別な配慮を要する児童生徒」数に ついて	…P 1 1 2

一般社団法人北海道江差観光みらい機構 事業計画概要

平成31年度については本格稼働の初年度であり、法人の早期安定的運営を念頭に置いた経営の確立を目指しながら、江差町における観光によるまちづくりを進め、持続可能な地域を構築することを目的として、町内の観光に関わる団体で構成されている江差町観光まちづくり協議会から助言や提言をいただきながら、下記の業務を遂行します。

1. 情報発信

【ITを活用した情報発信】

- ・江差町観光情報webサイトの管理（更新、新着情報発信等）
- ・町内団体・事業者等のwebサイトとの連携、制作等の支援
- ・SNS等を活用したイベント、食及び商品等のPR
- ・PR用の画像・映像等の制作

【企業等との連携による情報発信】

- ・観光誘客に係る旅行者へのPR活動
- ・クーポン券の発行による観光PR
- ・マスコミや観光関係企業等と連携した情報発信

2. 観光客受入

【受入体制の充実】

- ・江差町観光情報総合案内所を拠点とする観光案内サービスの充実
- ・江差追分全国大会時におけるイベント民泊
- ・リノベーション施設の活用促進と新規事業検討
- ・地域住民と協力した観光客の受入態勢の整備

【体験観光メニューの充実】

- ・既存の体験メニューの磨き上げ
- ・食やアクティビティ等による体験メニューの構築
- ・体験メニューのツアー商品化の促進

【体験観光メニューについて】

「既存メニュー」は、DMOがPR、受付、紹介等を担い、「未構築メニュー」は、DMOが具体的な手法等を固め磨き上げる。

<既存メニュー>

抹茶たて体験、江差追分体験、座禅体験、着物で町歩き体験、手芸品・小物作り体験、キャンプ・BBQ体験、磯カニ釣り体験、VR体験、サイクリング体験 ほか

<未構築メニュー>

釣堀体験、餅つき囃子体験、尺八・三味線体験、お祭り囃子体験、こうれん・かたこもち作り体験、蕎麦打ち体験 ほか

3. 販売事業（ぷらっと江差の運営等）

【地元事業者の販売向上に向けた取組】

- ・既存販売商品の改善・販売促進
- ・新規販売商品の開発
- ・店舗の活用機会の提供
- ・店舗外販売における参画機会の提供

【販売環境の改善】

- ・キャッシュレス化（クレジットカード等）への対応
- ・外部アドバイザー招聘による販売スキルの向上

【経営安定化対策】

- ・季節に応じた企画販売の実施
- ・ITを活用した販路拡大策の検討
- ・新規仕入れ先開拓等による陳列商品の組み換え
- ・販売商品の高付加価値化
- ・地元食材を使った飲食メニューの充実・高付加価値化

H31年度一般社団法人北海道江差観光みらい機構 予算案

<収入の部>

(単位：千円)

項 目	予算額	備 考
販売事業収入（ぷらっと江差収入）	27,343	
情報発信業務受託	2,500	情報発信コンテンツ更新等(2,500)
体験観光事業収入	750	イベント民泊(448)、その他(302)
運営費として江差町からの補助金	32,763	
合 計	63,356	

<支出の部>

項 目	予算額	備 考
人件費	29,999	
事務局長人件費	(7,449)	新規（手当・共済費含む）
職員給料	(8,942)	役場から移籍（3人）、ぷらっと店長（1人）
観光案内職員給料	(4,236)	開陽丸から移籍（2人）
パート職員人件費	(5,433)	ぷらっと江差店員（4人）
諸手当（職員、観光案内職員）	(1,510)	
共済費等（ " ）	(2,429)	
内部管理費	3,000	
販売事業費（ぷらっと江差運営費等）	27,831	
情報発信事業費	1,000	
体験観光事業費	1,000	
翌期繰越金	526	
合 計	63,356	

(参考)

予算資料 15ページ No.218 “古くて新しいまち江差”観光振興（地域DMO）事業
(単位：千円)

項 目	予 算 額
北海道江差観光みらい機構運営費補助金	32,763
ぷらっと江差運営事業資金貸付金	3,000
地域DMO事業推進事業委託	1,500
情報発信コンテンツ更新等委託	2,500
事務費	3,389
総 額	43,152

未利用町有地売却状況

(平成30年度)

(1) 旧江差駅跡地分譲宅地

① 売却物件

	所在	地目	面積	売却価格
物件1	陣屋町127-22	宅地	233.29m ²	2,180,000円
物件2	陣屋町127-23	宅地	233.28m ²	2,010,000円
物件3	陣屋町127-24ほか	宅地	237.92m ²	2,830,000円
物件4	陣屋町127-26ほか	宅地	227.24m ²	2,700,000円

② 売却方法

公募抽選

③ 公募期間

第1回公募 平成30年9月18日～10月5日

第2回公募 平成30年12月5日～12月25日

④ 申し込み

第1回公募 2名

第2回公募 1名

⑤ 売却の状況

第1回公募 1名成約(物件4)、1名辞退

第2回公募 1名辞退

(2) その他の未利用町有地

① 売却物件

	所在	地目	面積	売却価格
物件1	円山32-55ほか	宅地	276.25m ²	4,060,000円
物件2	茂尻町288	宅地	141.86m ²	2,610,000円
物件3	柏町13-6	宅地	639.35m ²	2,900,000円

② 売却方法

常時公募(先着順)

③ 公募期間

平成30年9月18日～

④ 申し込み

なし

北の江の島構想のスタートアップ事業として、かもめ島、開陽丸(マリーナ)周辺において、各種ソフト事業を展開し、町民の憩いや交流人口の拡大を図り、北の江の島を「構想」から「実行」へ推進。
 各種ソフト事業の実施にあたっては、本事業の他、江差観光みらい機構などの各種団体との連携のもと、観光シーズン(5月～9月)において、切れ目のないイベントを展開し賑わい創出を図る。

①恋する灯台PR推進事業 (事業費 478千円)

鷗島灯台が平成30年6月、日本財団と日本ロマンチスト協会より「恋する灯台」に認定。
 「鷗島灯台」を含め、いにしえ街道や開陽丸周辺を周遊させる「スタンプラリー」や「鷗島灯台のPR」を展開。

〈主な内容〉

- スタンプラリー実施(4月27日～8月31日)
 - ・町内10か所のスポットへの幟やスタンプの設置
 - ・スタンプラリー参加者への記念品(マグネット)
 - ・スタンプラリー完走者へのプレゼント(抽選により、町内宿泊券や特産品)
- 鷗島灯台のPR
 - ・鷗島灯台を背景に幸せになる鐘をならした写真撮影者へのプレゼント (証明書、ミサンガ等)



②マリンスポーツ推進事業(事業費 609千円)

江差港マリーナと江差マリンスポーツ交流センターを活用した町民や観光客の体験交流事業を展開。

〈主な内容〉

- マリンスポーツ体験メニューの推進(7月中旬～8月中旬)
 - ・サップ、バナナボート等の体験受入(町民、観光客)
 - ・町内学校等レクリエーションの受入(日帰り・宿泊)
 - ※子どもマリン体験教室(97千円)も含め事業展開
- ファイナルイベント開催(8月17日、18日予定)
 - ・海水浴シーズン終了時に、イベントを開催
 - (※オープニングは、社会教育課の「えさしアミューズSEAフェスタ」 1,031千円)



③海の家運営事業(事業費 493千円)

旧寺子屋売店を活用し、海水浴シーズンの1週間程度、海の家を開設。

※江差マリンビーチ運営事業(4,877千円)と連携

〈主な内容〉

- ・海の家開設人件費(アルバイト予定)
- ・運営資材、備品整備(かき水機械等)



江差子ども未来応援プロジェクト

○平成30年度(執行額:2,123,457円)

・ミライ☆リーダー養成『夢限』プロジェクト:「さかなクン講演会」

■開催日時:平成30年6月28日(木)13:30~15:00

■開催場所:江差町文化会館大ホール

■講演タイトル:「さかなクンのギョギョッ!とびっくり!お魚勉強会」

■対象者:町内小中学生501名、引率教職員、町民約100名

■主な内容:地魚や旬の魚を即興で描き、会場の子どもたちに当ててもらった。正解者にはステージに上がってもらい、さかなクンとトークをしながらイラストを完成させ、サインを入れてプレゼントをした。また、江差の鮮魚を用意し、さかなクンが会場の皆さんに見せながらクイズや解説を行った。児童生徒の感想は、「とても楽しく勉強になった」という声が大きかった。



○平成31年度(予算額:2,058,000円)

・ミライ☆リーダー養成『夢限』プロジェクト:「米村でんじろうサイエンスプロダクション」サイエンスショー

■開催日時:平成31年7月11日(木)13:30~15:00

■開催場所:江差町文化会館大ホール

■公演タイトル:「サイエンスショー」

■対象者:町内小中学生458名、引率教職員、町民約100名

■主な内容:科学実験を多彩な演出を加えてショースタイルで表現!「学べるだけでなく楽しい、楽しいだけでなく学べる」教育とエンターテイメントを融合させたサイエンスショーを開催する。



まちづくりカフェ活動拠点整備事業・まちづくり人材育成プロジェクト事業

【事業費内訳】

(単位：千円)

項目	まちづくりカフェ 活動拠点整備事業費	まちづくり人材育成 プロジェクト事業費	備 考
報償費		49	講師謝礼
旅 費		31	講師旅費
需用費	200		マット・掃除用具等
		236	事務用品・周知チラシ等
役務費	75		ネット回線料
		21	郵送料
使用料	1,440		家賃
原材料費		531	木工講座用材料
備 品	285		椅子・プリンター等
		114	ホワイトボード・ポット等
合 計	2,000	982	

平成30年度地域別まちづくり懇話会における主な意見及び質疑一覧

<2019.3.5 広報統計係>

□ テーマ：「防災に係る課題や問題等」

□ 開催日程等

日 時	場 所	該 当 町 内 会	出席者数
1月28日(月) 18:30～	南が丘ふれあいセンター	5町内会 (海岸町、五勝手、柏団地、南が丘、椴川町)	10名
1月29日(火) 18:30～	役場保健センター	5町内会 (愛宕町、新栄町、中歌町、津花町、豊川町)	14名
2月4日(月) 18:30～	役場保健センター	8町内会 (姥神町、上野町、本町、円山、茂尻町、新地町、陣屋町、橋本町)	16名
2月5日(火) 18:30～	田沢憩いの家	2町内会 (尾山町、田沢町)	7名
2月8日(金) 18:30～	朝日児童館	4町内会 (上小黒部、下小黒部、朝日町、中網町)	15名
2月12日(火) 18:30～	水堀コミュニティセンター	5町内会 (柳崎町、水堀町、越前町、伏木戸町、泊町)	17名
※欠席：3町内会(大潤町、鯨川町、五厘沢町)			計 77名

<まちづくり推進課>

目次

1	ブラックアウト	P2
2	防災訓練	
3	防災組織	P3
4	防災備品	
5	防災体制	P4
6	広報周知	P5
7	周辺環境	P6
8	避難所施設	P7
9	高齢者対策	
10	避難行動要支援対策	P8
11	給水対応	

主な意見及び質疑一覧(項目別)

1 ブラックアウト

No	意見内容等	町内会名
1	携帯電話充電対応をしたかったが発電機が届いたのは発生後3時間以上たってからだった。もっと迅速に配置できないか。	南が丘
2	避難所開設は何か所だったのか。	南が丘
3	避難所との連絡体制で、町内会と本部の直接連絡はできないか。	南が丘
4	椴川の避難所は、特に防災設備があるわけではなく、ローソクで明かりを取り、休んでもらった状況にある。	椴川
5	この地域は2日間電気が来なかったため、情報を得る手段がなかった。	田沢町

2 防災訓練

No	意見内容等	町内会名
6	町主催で定期的な災害や防災の講習会、避難訓練を開催してほしい。 町内会単位が無理であれば、町全体で行ってほしい。	茂尻町 尾山町 下小黒部

主な意見及び質疑一覧(項目別)

3 防災組織

No	意見内容等	町内会名
7	町内で、自主防災組織を作って活動している町内会はあるのか。 また、以前は各町内会に防災組織の設置を依頼していたが現在の町の考えはどうか。	愛宕町
8	防災に対する組織が不十分であるので、若者を含めた防災組織の体制をどう作ればいいのか。	茂尻町 本町 姥神町

4 防災備品

No	意見内容等	町内会名
9	防災グッズ関係を町内会でも少し用意した方が良いのではないか。	本町
10	防災グッズを1世帯1万2千円程度(備蓄品、懐中電灯、薬等)のものを町内会で購入し配布した。	新地町
11	各避難所となりうる集会所に発電機や防災備蓄品等の設置を検討してほしい。 また、設備の老朽化対策も必要。	南が丘 姥神町 新地町 田沢町 上小黒部 中網町
12	家庭内の備蓄について、町民にどこで非常袋や備蓄品が買えるのか広報誌などを利用して情報提供してはどうか。	田沢町

主な意見及び質疑一覧(項目別)

5 防災体制

No	意見内容等	町内会名
13	町内会での横のつながりを強化することにより、誰がいないなどの安否確認や防災活動にもつながる。しかしながら、町内会活動で、防災グッズなどの準備をしないで、会議での飲食などで町内会資金を使用して良いものなのかと感じる。その判断は町内会に求められている。	円山
14	町ばかりに頼っていくのではなく、町内会として何をすべきか考えなくてはならない。そのためにも、様々な防災に関する情報提供をお願いしたい。	円山 橋本町 田沢町
15	長期的な災害があった場合は、炊き出し等もあると思うが、対応はどうしたらよいか。炊き出し対応できそうな団体には、声掛けしておいてはどうか。	新地町
16	津波の際、避難所までの移動について、高齢化が進み、移動が難しい状況にある。車以外での移動手段を考えなければならない。	田沢町
17	以前に朝日児童館が水害にあったことがあるのだが、その時消防にお願いし、ポンプアップして排水したことがある。そのことから、朝日児童館も水害では、避難所として開設できないと思う。その後、町に簡単に水はけを良くできる方法があるのかで対応してほしいと要望したが、何も返答がない状況である。排水についても、80%程度しか呑み込まず改良が必要ではないかと話したが、排水管の先が土地改良区の敷地のため、簡単に運ぶ話ではないと言われ終わってしまった。	朝日町
18	水堀地区には、風力発電、太陽光発電があり、かつ北電の変電所があるのでこれらを利用して、そこから直接電気を流す方法は取れないのか検討を要請する。	水堀町
19	事業所との協力関係について、測土開発では、ドローンを利用して仕事をしている。ドローンを所有している事業者と提携して、ドローンを活用し災害状況の確認など状況把握を行ってはどうか。また、災害物資をドローンで運ぶなどのようなことも徐々に可能になってくるのではないかと思うので、事業所と町で協定を結んでもらいたい。	水堀町

主な意見及び質疑一覧(項目別)

6 広報周知

No	意見内容等	町内会名
20	災害等にかかわらず、広報車の広報が聞こえづらい。	海岸町 水堀町
21	ブランクアウトでは電気機器類が、津波等では交通が遮断され、情報伝達ができない場合のため、防災無線等の設置を検討いただきたい。	中網町 尾山町 田沢町 柳崎町
22	ハザードマップ以外で、町内会でまずはどこに避難するのか決めておく必要がある。また、ハザードマップについてどう見るかなど話をしてもらいたい。	田沢町 尾山町 朝日町
23	津波等の水害の際、避難の勧告や指示を早めに出してもらいたい。	下小黒部 越前町 尾山町
24	昭和初期もしくは、大正時代の目地の図面があったら欲しい。理由は、大きな地震があった時は、過去の例から、今の道路に亀裂が入ったり、陥没したりなど現象があちこちで発生すると思われ。その多くは、昔の河川を改良し道路ができたりしているところから、このような現象が起きている。今の人たちは、昔ここに何があったかということとを知らないで、昔の目地の図面があれば、危険個所の認識ができると思う。	中網町
25	吹鳴装置なのだが、聞こえにくいのでスピードカーの向きを変えるなど工夫できないか。また、他の周知方法を検討いただきたい。	柳崎町 水堀町 泊町

主な意見及び質疑一覧(項目別)

7 周辺環境

No	意見内容等	町内会名
26	災害時の避難路確保に不安があるため、河川等の整備をお願いしたい。	楸川 愛宕町 泊町 中歌町
27	新栄町の老人福祉センター横に流れてきている沢があるが、砂防ダム工事(工事中(H30.31工事予定)、その流末の出口が狭くなってきたかと思われ。そのため、その地区周辺が浸水したことがある。対応してもらいたい。	新栄町
28	元木村木材があつたところなのだが、斜面から石が落ちてきている実状があるが、急傾斜地の指定がないことから、町で対応してもらえないか。	新栄町
29	災害対策関係の調査が入っているようだが、どのような状況か調べていただきたい。	中歌町 津花町
30	避難階段について、擁壁に上った後に避難階段へのアクセスができない状況にある。アクセス可能になるよう対応してもらいたい。	津花町
31	旧生涯学習センターの排水はうまくいっているのか。	本町
32	ホテルニューえさし側の山が民家付近まであるので、大雨や地震による土砂災害が心配だ。	新地町
33	吹雪で吹き溜まりになる箇所が多いため、除雪作業等の工夫をお願いしたい。	下小黒部 朝日町
34	伏木戸地区には、小さな川があり、単管で足場を組み上げられるようにしているのだが、古くなり危険な状況になっているので対応してもらいたい。	伏木戸町

主な意見及び質疑一覧(項目別)

8 避難所施設

No	意見内容等	町内会名
35	避難所は、自町内にある建物を使用させてもらいたい。	新地町
36	北部地域は道路がすべて遮断されて孤立してしまつたため、こちら側にも防災倉庫のようなものがほしい。	北部全域
37	現在指定されている避難場所をかえていただきたい。 また、その場合町内会で避難所を判断してもよいか。	尾山町 朝日町 柳崎町 泊町 豊川町
38	津波等の際にすぐに避難できる高台等の設置を検討いただきたい。	水堀町

9 高齢者対策

No	意見内容等	町内会名
39	生活必需品(バスタオルやタオルなど)を役場で貸出しできるようにできないか。	柏団地
40	災害などで、高齢者が多いため、具合が悪くなる人や逃げる際に負傷する人がいた場合の応急処置に関する資料提供をしてほしい。	茂尻町

主な意見及び質疑一覧(項目別)

10 避難行動要支援対策

No	意見内容等	町内会名
41	支援者名簿の見直しを検討いただきたい。	愛宕町
42	避難行動支援者名簿について、個人情報関係から、どのように利用するか悩んでいる。	愛宕町 新栄町 豊川町 中歌町 円山
43	高齢者が多く中には一人で歩けない方もいる、災害があった場合はどう対応したら良いのか。江差町全体が高齢化していることもあり不安に思う。	上野町
44	江差町全体でも、高齢化が進んでいる中で、避難する場合、高齢者1人を避難させるために2人の人出が必要になっってしまう。 そこを考え、町で一括して町内会にリヤカーの設置をしてはどうか。 リヤカーだと乗せてしまえば、1回に3人は運べると思う。	茂尻町

11 給水対応

No	意見内容等	町内会名
45	災害時は、水の確保が重用だと思う。町として、井戸水や湧水の確保はできないのか。 上小黒部地区には2箇所地下水が出るところがある。	豊川町 上小黒部

日本遺産地域活性化推進事業について（H29～H31）

区分	H29年度		H30年度		H31年度	
	事業内容	決算額	事業内容	予算額	事業内容	予算額
情報発信・人材育成	ポスター、パンフレット制作	474	広報媒体・インフルエンサーを活用した観光PR	8,000	◆文化庁への事業要望（済） 14,452千円 ※最終的には10,000千円程度の交付決定が見込まれる ◆江差町観光まちづくり協議会において事業内容の決定 次回開催 3月19日 新年度 5月上旬	
	イベントブースキット制作	1,198	観光ガイド等の養成	3,500		
	テレビ制作・放送	5,699				
普及啓発	シンポジウム等開催	2,648	啓発用配布物制作	4,500		
	大型ニシンのぼり、展示用ニシン吊るし飾り制作	4,000				
	観光ガイド等用の半てん制作	950				
調査研究	バーチャルリアリティー制作	20,000				
	外国人誘客調査研究	4,000				
公開活用のための整備	紹介拠点として旧郡役所の整備	1,000	多言語案内表示の整備	5,000		
	文化庁主催研修会参加旅費、消耗品費等	2,037	文化庁主催研修会参加旅費、消耗品費等	2,275		
合計		42,006		23,275		10,000

町営レストラン月別利用状況比較

利用組数 (単位：組)

月	平成29年度	平成30年度	対前年比
4月	574	506	88.2%
5月	1,208	861	71.3%
6月	687	613	89.2%
7月	916	730	79.7%
8月	1,347	1,210	89.8%
9月	847	628	74.1%
10月	689	547	79.4%
11月	378	376	99.5%
12月	224	180	80.4%
1月	179	145	81.0%
2月	217	-	-
3月	322	-	-

利用人数 (単位：人)

月	平成29年度	平成30年度	対前年比
4月	1,347	1,245	92.4%
5月	3,047	2,057	67.5%
6月	1,667	1,496	89.7%
7月	2,337	1,779	76.1%
8月	3,589	3,116	86.8%
9月	2,229	1,619	72.6%
10月	1,827	1,411	77.2%
11月	973	949	97.5%
12月	442	356	80.5%
1月	385	346	89.9%
2月	554	-	-
3月	666	-	-

介護保険特別会計について

1. 一般介護予防事業概要

すべての高齢の方等を対象に介護予防の普及・啓発や健康の保持増進を図ります。高齢になっても自ら健康づくりや介護予防に取り組めるように、自主グループの育成や住民中心の通いの場を充実させ地域づくりによる介護予防を目指して展開しています。

《事業内容》

● 体と頭の運動

○ 転ばん塾

だんだんと落ちてくる筋力をアップし、転ばないよう体も頭も動かすさまざまなメニューで地域への出前型の教室です。お元気な方から高齢でサポートが必要な方まで幅広くご参加頂ける内容で、サポートに介助員が参りますので安心です。

〈メニュー〉

筋力アップ軽運動・レクリエーション・ゲーム・脳活性プログラム・ハンドベルを使った音楽療法 等

○ いきいき健康教室

おおむね65歳以上の方で介護保険の要介護認定を受けていない方、または基準に該当する要支援1及び要支援2の認定を受けている方が対象です。生きがい交流センターで実施しており、利用料は1回200円です。毎週1回の火曜日(送迎なし)・水曜日(送迎あり)・木曜日(送迎あり)で午後1時30分～午後3時45分の利用時間となっています。

〈メニュー〉

入浴・血圧測定・運動やレクリエーション・カラオケ・体力測定・お誕生会 等

○ がっつり運動教室

おおむね65歳以上の方で介護保険の要介護認定を受けていない方、または基準に該当する要支援1又は要支援2の認定を受けている方が対象です。生きがい交流センターで運動をメインとして実施しており、利用料は1回200円です。毎週1回の火曜日(送迎なし)・水曜日(送迎あり)で午前10時～午前11時30分の利用時間です。

〈メニュー〉

運動やレクリエーション・脳トレ・血圧測定 等

○ たんぽぽの会

おおむね65歳以上の方が対象です。ハンドベルなどの音楽療法や俳句などをしてい方にお勧めです。月1回～2回(金曜日)に開催しており、自主活動と介護予防事業

で併せて行っています。利用料は、年会費(送迎代)7,200円です。

〈メニュー〉

運動・レクリエーション・ハンドベル・川柳・脳トレ 等

○ 五勝手ぼちぼち教室

おおむね65歳以上の方が対象です。運動をメインに筋力アップをぼちぼち行っています。月2回自主活動と介護予防事業で併せて行っています。利用料はなしです。

〈メニュー〉

運動・ゲーム・レクリエーション・脳トレ 等

○ あたまの健康チェック認知症機能確認スケール

タブレットを使って簡単なチェックで認知症になる前の段階を確認できます。早期の発見が予防や改善に大きく効果でありますので、どなたでもご連絡を頂ければご利用できます。

※ 包括職員と一緒にタブレットで確認しますので、あらかじめ日時をお知らせください。

○ トレーニングコーナー開放事業

在宅型総合福祉施設まるやまに運動機器を完備し、月曜日から土曜日の午前9時～午後4時までの間自由に運動ができます。水曜日は夜間開放で午後6時～午後8時の時間帯も利用できます。利用料は月500円です。今よりも筋力アップしたい方や体力づくり、ダイエット等を目的としている方にお勧めの事業です。

● 介護予防サポート支援

○ 各老人クラブへの活動支援

各老人クラブからの要請で、介護予防事業をご依頼時に展開しています。内容は、老人クラブの皆さんからの依頼に合わせて、運動・脳トレ・介護保険のお話など、さまざま対応しています。

○ 地域主体で行う介護予防事業・集いの場開催への支援

集いの場づくり等を考えている町内会や婦人部の皆さんへ開設に向けての話し合いや方法等を一緒に検討します。また、仲良しの集まり等でも自主グループ活動に向けて、サポートします。

○ 介護予防グッズ貸出

高齢者疑似体験グッズや各種ゲーム、ストレッチャーポールなどの貸し出しをしています。申請書を記入頂くだけで貸し出しできます。

〈貸し出しグッズ〉

輪投げ・じゃんけんペタンコ・お手玉のせゲーム・くらげゲーム・洗濯スコップ・いもゴルフ・ふろしき玉入れ・ボーリング・叩いて被ってじゃんけんぽん・旗上げ

ゲーム・輪っか(大・小)じゃんけん・ゲーゴールゲーム・紅白かるた・釣りゲーム・福笑い・割り箸リレー・輪くぐり・色とりゲーム・豆つかみ・紙相撲・うちわお手玉・トランプ・かるた(長寿かるた、日本昔話かるた、雑学かるた)・屋号ゲーム・人生ゲーム・こま・おはじき・ビー玉・めんこ・ストレッチポール・卓球団セット 等

2. 任意事業

(1) 家族介護者支援事業

自宅等で家族を介護している介護者が心身共にリフレッシュできる時間を提供する事業。介護ストレス・孤独感などから一旦解放されることで気持ちがリセットされ、介護していくことを続けていくことができるように後方的に支援をしています。

〈事業内容〉

リフレッシュ事業・介護教室・家族会立ち上げ検討 等

(2) 成年後見制度利用支援事業

申立相談受付と申立費用・成年後見人報酬を行う。生活保護受給者等経済的に困窮している方が制度を活用する際に、判断能力が低下した場合であっても、できる限り自宅で生活できるよう支援しています。

〈事業内容〉

申立相談受付・申立費用および後見人報酬助成受付対応

(3) 江差町高齢者見守り支え合いネットワーク事業「チーム江差」

地縁組織および高齢者の生活に関わる全ての職種の方々と共に気にかけて見守り支え合える組織の構築を進めています。生活困難な状況にある方を日常業務のなかで見かけた時は、関係機関と情報共有しながらサポートを進めています。

〈事業内容〉

広報活動・新規加盟店団体加盟依頼・代表者会議 等

(4) L S A 配置事業

町営・道営シルバーハウジング入居者に対する定期的な安否確認と健康状態確認のための訪問などを行い、入居者が自分らしく自立した生活ができるように支援しています。

〈事業内容〉

定期訪問相談・各手続き支援・入居判定会議・相談室を活用した集いカフェ 等

3. 生活支援体制整備事業～地域支え合い推進事業～

高齢者に限らず全ての年代にとって住みよい地域・理想とする地域像を地域住民が意見交換しながら検討していくことをサポートしています。住民目線のまちづくり・住民主体のまちづくりを視点に江差町のニーズに合った活動を実践していきます。江差町の生活支援体制に必要な実践者の発掘やそのための支援を行い、地域自由民の互助力を強化していく事業です。

生活支援コーディネーターの役割としては、地域支え合い協議体(1層協議体)・まちづくりカフェ(2層協議体)を運営し、地域の課題整理を行い地域の中に必要な資源について検討しています。また、地域実態把握人材発掘にかかる訪問は、町内会単位で自宅訪問をさせて頂き、ニーズ調査と併せて地域の中にいる人材発掘も行っています。ニーズと担い手のマッチングを行い、地域住民同士の支え合いの構築がなされるよう活動しています。それ以外にも、町内会単位で実施のタウンミーティングを開催し、地域の形に合った集まれる場所づくりや介護予防に繋がる取り組みへのサポートも行っています。

〈事業内容〉

まちづくりカフェ(年6回)・地域支え合い協議体(年6回)

地域実態把握人材発掘(H28～H30.1まで14町内会)

タウンミーティング(H29～H30.1まで7町内会)

協議体活動内容

	1層 地域支え合い協議体(テーマ)	2層 まちづくりカフェ(テーマ継承)
第1回	除雪・排雪への対応方法	2年間の成果から見える課題と抱負
第2回	まちづくりカフェ考え方(方向性)	互助確認シートを活用し活動内容の確認
第3回	まちづくりカフェプロジェクトチームの考え方(方向性)	互助の効果について確認
第4回	まちづくりカフェ取り組みについて	プロジェクトチームの課題・抱負
第5回	まちづくりカフェ参加感想及び連携	次年度に向けての住民主体の具体策と課題
第6回		成果報告会
最終回	1層地域支え合い協議体と2層まちづくりカフェ意見交換会～今後の連携に繋ぐ	

〈平成31年度事業予定〉

活動拠点整備事業及び人材育成プロジェクト事業

まちづくりカフェ(年4回)・地域支え合い協議体(年6回)

地域実態把握人材発掘(5町内会)

タウンミーティング(7町内会)

4. 認知症総合支援事業

認知症という病気を知るきっかけづくりや地域内の認知症当事者やその家族に対する支援ができる人材を増やし、地域全体で支え合うことができる体制を構築する事業です。

また、認知症の方やその家族に早期に関わり、早期診断・早期治療に向けた支援体制を構築しています。

〈事業内容〉

認知症カフェ・認知症多職種研修会・認知症初期集中支援チーム活動
認知症サポーター養成講座・認知症講演会・キャラバンメイトサポーターの集い
小中学生対象認知症啓発事業 等

5. 配食サービス事業

(1) 平成30年度実績
利用者はおりません。

(2) 平成31年度の考え方
本事業については、一般会計にて予算計上をしております。
現時点では「江差町高齢者等在宅生活支援事業実施要綱」に基づき対応させていただきますが、平成31年度中において、現行制度利用状況や利用者ニーズ、事業者からの情報等を踏まえながら内部検証を行い、制度改正を見据えた検討を進めて参りたいと考えております。

特別教育支援員

○各支援員が担当する「通常学級において特別な配慮を要する児童生徒」数

学 校	担 当 数
A 小学校	4 人
B 小学校	7 人
C 小学校	4 人
D 中学校	3 人
E 中学校	3 人

※支援員については、上記担当の支援のほか、学級の中で学習が遅れがちな児童生徒の支援も併せて行っている。